

週刊新社会

8月20日



2019年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

議会傍聴を！見られていることで緊張感生まれる

9月決算議会開催目前 傍聴に行こう

決算通じて市民生活や生活基盤を把握・提言へ

30日に始まる9月議会を前に、今月8日に野田市水道事業運営審議会、19日には野田市国民健康保険運営協議会が開かれ、それぞれ前年度決算内容が報告された。

9月議会は表1の日程案で開かれる。決算審査が中心となるが、その審査はわずか3日間。これで竹内美穂議長が6月議会の議長選挙で公約した、次年度予算編成に提言できる改革ができるのか注目

される。

もちろん、それは与野党を超えた決算の政策的精査が必要となる。そのことは市民生活を踏まえた市民の声を野田市がどのように予算化し、執行しているのか、自らの頭で考えて質問することがポイントとなる。

表1 9月議会日程(案)

| 期日 | 開議予定時刻 | 会議予定 | 主な内容 |
|----------|--------|-----------|---|
| 8月26日(月) | 10時 | 議会運営委員会 | 提出議案、請願・陳情の概略説明、定例会日程及び提出議案や請願・陳情の付託先の検討等、その他 |
| 30日(金) | 10時 | 本会議(開会) | 会期の決定、議案上程、市政一般報告 |
| 9月6日(金) | 10時 | 本会議 | 議案質疑、委員会付託 |
| 9日(月) | 10時 | 本会議 | 一般質問 |
| 10日(火) | | | |
| 11日(水) | | | |
| 12日(木) | 未定 | 常任委員会 | 議案等の審査 |
| 13日(金) | | | |
| 17日(火) | 10時 | 決算審査特別委員会 | 平成30年度各会計決算の審査 |
| 18日(水) | | | |
| 19日(木) | | | |
| 25日(水) | 10時 | 本会議(閉会) | 委員長報告、質疑、討論、採決 |

「会計年度 臨時非常勤職員の任用職員」 人権を守る制度に

来年4月に実施が迫る会計年度任用職員制度。条例化が必須であるが野田市はどうなるのか。

民間の非正規労働者は曲がりなりにもパート労働法や労働契約法ができ、「均等待遇」や「無期雇用転換」の法的根拠ができた。しかし、公務員は適用除外で救済措置はなかった。

このような法の狭間にある非常勤や臨時公務員に対して適用されようとしているのが会計年度任用職員制度。しかし、労働者側が闘いといったものとは言いがたい制度のため、ボーナス等の手当て支給に道を開いたとはいえ、文字通り1年(1会計年度)採用で、雇

用の不安は変わらない。かえって5年以上の勤続は不可とのダメ出し

が強化され、昇給もままならない。事務職になり、これまでの臨時非

常勤職員組合は交渉の背景力であるスト権がなくなる。

先行自治体やソウル市の無期転換

しかし、職員組合との交渉の結果、一定の定昇制度やボーナス月数、諸休暇の改善を図っている自治体もある。野田市は全国初の公契約条例をつくった、働くものの労働条件に配慮する自治体。外面はいいが内面は悪いということにはならないと期待せざるを得ない。

ソウル市の雇用制度

参考になるのがソウル市の臨時

職員の雇用と人権改善だ。市と市が出資している企業(ソウル地下鉄など)の有期労働者を無期転換し、昇給も行った。委託から直接雇用も行っている。労働者は市民との位置づけで、市民の労働保護を打ち出し、9千人以上も無期転換した。2011年に給食無料化が争点になった時に当選したパク・ウォンスン市政。韓国に学ぶことは多い。

植民地支配・軍事独裁政権 命がけで闘った韓国民衆の強さ

野田市中公民館で「平和のつどい・のだ 2019 ~いのちを守ろう!! 私たちの平和憲法で~」が、同実行委員会の主催で 17 日と 19 日に開かれ、おおぜいの市民が参加した。

軍隊を持たないコスタリカについて昨年講演したジャーナリスト伊藤千尋^{ちひろ}さんが今年は、「平和をもたらす市民の行動~韓国の現場から」と題した講演会の要点を報告する。(本紙一面も参照)



野田市中央公民館講堂を満席にして韓国の運動について熱弁をふるう伊藤千尋さん

行動する良心たれ！キム・デジュン

伊藤千尋さんの講演の前に上映されたのは、昨年 11 月 NHKBS 報道の「アナザーストーリーズ『パク・クネ 弾劾の舞台裏~その時韓国は沸騰した~』」。

これはパク・クネ大統領の権力絶頂期に、できたばかりのテレビ朝鮮の記者に持ち込まれた訴えに、後にチェ・スンシルゲートで名を馳せた同名の人物がいることに気付き、調査を始めたことが発端となった。

しかし、命をもちかなくてはならない中で特ダネを第一報した後、会社上層部は肝心の第 2 弾を放映することをやめてしまった。



平和のつどい・のだ 2019 の展示の一部。野田市中央公民館会議室

当然そこには政権からの圧力があつたろう。



伊藤さんは 80 年の光州事件を題材とした「タクシー運転手」の話から始めた。虐殺が行われている光州市は記者が近づけない。そこにドイツ人記者がタクシーで駆けつけるという物語。記者は命がけ、最初は儲かると思っただけのタクシー運転手は光州で事実を知って彼も命がけで記者を守る。

伊藤さんは朝日新聞社の特派員として 87 年の民主化で生まれた「ハンギョレ新聞」を 2000 年に訪れた。ハンギョレ（ひとつの民族という意味）は弾圧で首になった記者 200 人と、生活を削ってつくった市民の小額寄付でつくられた（なにやられいわ新選組と似ている）。そこで会った社長に朝日新聞が今ごろ何しに来たと罵倒された。かつて韓国が

しかし、他社の記者がこれを追っかけ調査・報道することで最終的にはキャンドル集会で政権を弾劾したという内容である。



軍事独裁の報道管制下だった時、4 日遅れで届く朝日新聞が韓国を知る唯一のものだったが、いまは何だというわけだ。

2016 年 10 月から毎週土曜日、開催 20 回、全国で 1600 万人が参加したろうそく集会を成功に導いたきっかけは、大統領と一民間人の癒着と巨額の資金作り（日本も首相と民間人の癒着で行政がゆがめられたが・・・）。

それを命がけで調査し報道するメディアの存在があつた。そして集会にはみんなが歌える音楽（『下野ソング』）があり、SNS で拡散された。日本も若者が動き始めていと希望を語った。

伊藤さんは今日はキム・デジュン大統領の命日（09 年 8 月 18 日）だと、彼の最後の演説（09 年 6 月）で述べた言葉を紹介した。「行動する良心たれ。行動しない良心は悪の側となる」。